

地域経済レポート

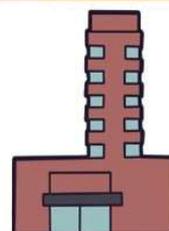
No.12

- 景況レポート 令和4年7月～9月の実績
令和4年10月～12月・令和5年1～3月の見通し
- 中部地区経済状況 令和4年6月までの統計情報



しずおか焼津信用金庫

地域の未来によりそう



1. 景況レポート

- (1) オリジナル リサーチ
「脱炭素社会（カーボンニュートラル）に向けた取組みについて」

- (2) 中小企業景気動向調査概要

- (3) 中小企業景気動向調査結果
第37回しずおか焼津信用金庫中小企業景気動向調査
第189回全国中小企業景気動向調査
全業種、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業

2. 中部地区経済状況

- (1) 最近の経済状況（国内・県内・中部地区）

- (2) 各種統計情報
 - ① 世帯・人口 令和4年6月
 - ② 東名高速料金所出入り台数 令和4年4月～6月
 - ③ 鉱工業指数 令和4年6月
 - ④ 雇用 令和4年6月

- (3) 過去の統計資料

1. 景況レポート

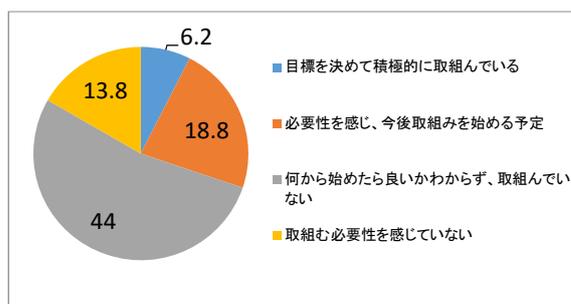
(1) オリジナル リサーチ

【脱炭素社会(カーボンニュートラル)に向けた取組みについて】

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする脱炭素社会(カーボンニュートラル)を目指すことを宣言しました。脱炭素社会に向けた取組みにより、持続可能で強靱な経済社会の実現に向けた動きが活発化しています。今回は、脱炭素社会に向けた取組みによるお取引様への影響についてアンケート調査を行いました。

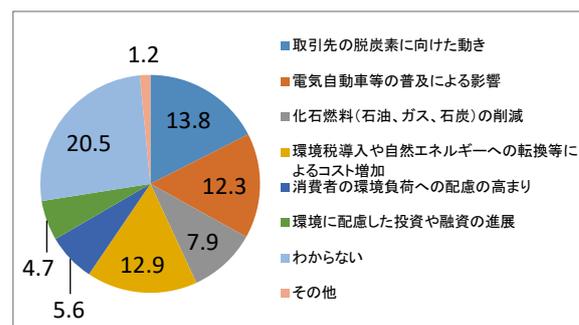
脱炭素社会に向けた取組みの状況！

「脱炭素社会(カーボンニュートラル)に向けた取組みを行っていますか？」の質問に対し「積極的に取組んでいる」6.2%、「今後取組みを始める予定」18.8%、「取組んでいない」44%、「取組む必要性を感じていない」が13.8%と、全体の1/4の企業が必要性を感じている一方、何から始めたら良いかわからず取組んでいない企業が半数近くの44%を占めている。



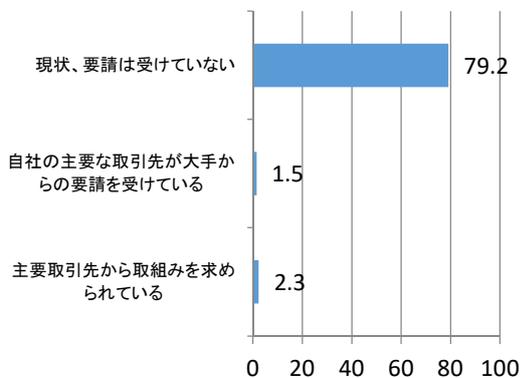
脱炭素社会促進に於ける関心事象

「脱炭素社会(カーボンニュートラル)促進において関心がある事象は何ですか？」の質問に対し「取引先の動向」13.8%、「コストの増加」12.9%、「電気自動車等の普及」12.3%と続いている。一方、「消費者の環境負荷への配慮の高まり」5.6%、「環境に配慮した投資や融資の進展」4.7%と感心度合は、比較的后順位となっている。



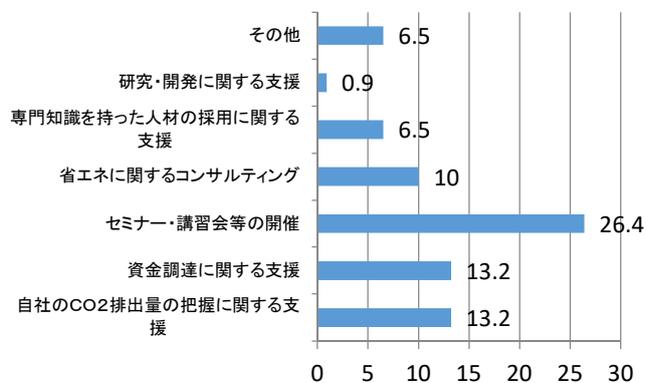
取引先からの要請

取引先から脱炭素社会(カーボンニュートラル)に関する要請はありましたか？



金融機関に期待すること

脱炭素社会(カーボンニュートラル)に向けた取組みを行うにあたり、金融機関に期待すること



(2) 中小企業景気動向調査 概要

調査時期	令和4年9月1日～9月15日
調査地域	静岡市 焼津市 藤枝市 島田市 富士市 富士宮市 牧之原市 御前崎市 榛原郡吉田町
調査対象	当金庫取引先の法人企業、及び、個人事業者
調査先数	344社
回収状況	341社(有効回答率99.1%)
調査内容	今期(令和4年7月～9月)の業況 来期(令和4年10月～12月)の見通し 来々期(令和5年1月～3月)の見通し
調査方法	当金庫営業担当者を調査員とした 面接聴取によるアンケート調査
分析方法	D.I. (Diffusion Index) をもとに分析

【業種】		【地域】		【従業員規模】	
業種	回答先数(社)	地域	回答先数(社)	従業員数(人)	回答先数(社)
製造業	98	静岡市葵区	65	0～4	122
卸売業	50	静岡市駿河区	71	5～9	51
小売業	47	静岡市清水区	32	10～19	54
サービス業	50	静岡市合計	168	20～29	33
建設業	60	焼津市	86	30～49	27
不動産業	36	藤枝市	60	50～99	36
合計	341	島田市	5	100～299	15
		富士市	12	300以上	3
		牧之原市	5	合計	341
		榛原郡吉田町	5		
		合計	341		

D.I.とは

Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略。「良い・増加」などと回答した企業の割合から、「悪い・減少」などと回答した企業の割合を引いた値。実績値では表れない経営者のマインドを示します。

D.I.の算出方法【業況判断D.I.の場合】

「良い」と回答した割合
45%

「普通」と回答した割合
20%

「悪い」と回答した割合
35%

$$45\% - 35\% = 10 \text{ (D.I.)}$$

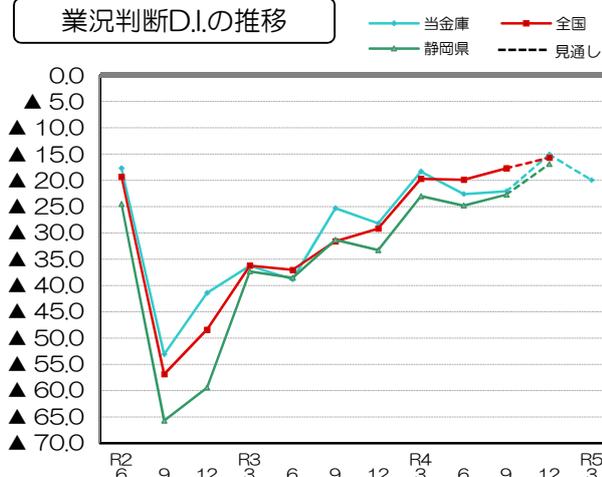
(100に近いほど「良い」△100に近いほど「悪い」)

全国、及び、静岡県内の業況判断 D.I.については、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000 (静岡県約1,200) の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」のデータに基づいております。

(3) 中小企業景気動向調査結果

全業種【回答先341社】(前回341社)

業況判断D.I.の推移



コメント



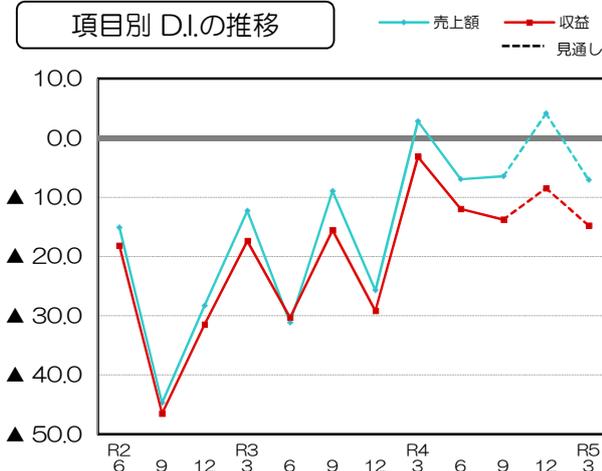
● 業況判断D.I. 横這い

コロナ禍や円安、ウクライナ情勢等による仕入価格の上昇の影響を受けるも、当金庫営業地域内の業況判断D.I.は前期から0.5ポイント回復も横這いの、▲22.1となった。

全国および静岡県の業況判断D.I.は、依然マイナス判断なるもマイナス幅はやや回復している。

来期予想では当金庫営業地域内、全国および静岡県ともに回復を見込んでいる。

項目別 D.I.の推移



コメント



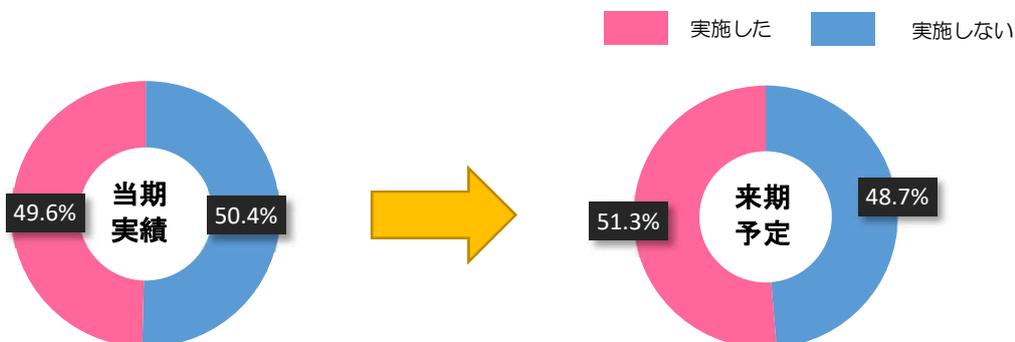
● 売上額D.I. 横這い

- ・ 今期は▲6.5と前期から0.5ポイント回復した。
- ・ 来期は今期から10.6ポイントの回復を見込んでいる。

● 収益D.I. 低下

- ・ 今期は▲13.8と前期から▲1.8ポイント低下した。
- ・ 来期は今期から5.3ポイントの回復を見込んでいる。

設備投資動向

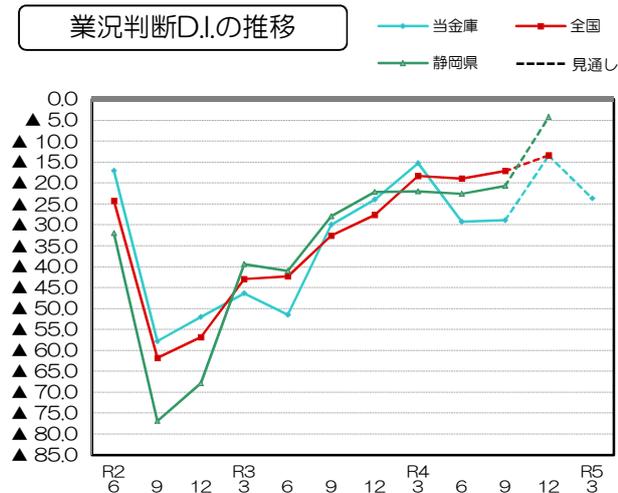


経営上の問題点 (複数回答) (%)	
売上の停滞・減少	42.5
人手不足	33.7
利幅の縮小	32.6

当面の重点経営施策 (複数回答) (%)	
販路を広げる	42.8
経費を節減する	42.5
品揃えを充実する	21.4

製造業【回答先98社】（前回99社）

業況判断D.I.の推移



コメント



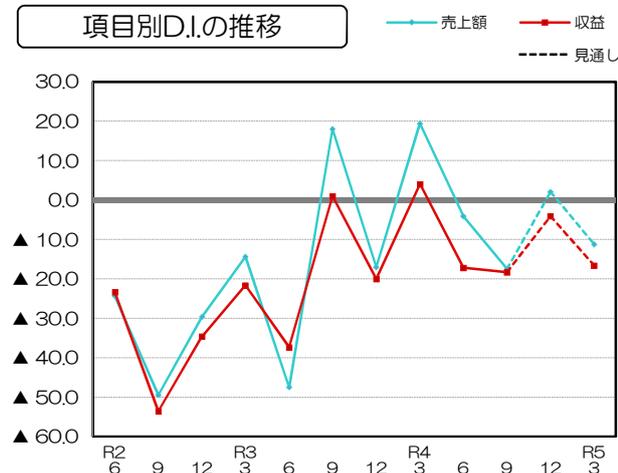
● 業況判断D.I. 横這い

当金庫の営業地域内の業況判断D.I.は前期から0.4ポイント回復も、横這いの▲28.9とマイナス判断となった。

全国および静岡県の業況判断D.I.はやや回復するも、依然マイナス判断が続いている。

来期予想では当金庫営業地域内、全国および静岡県はともに回復を見込んでいる。

項目別D.I.の推移



コメント



● 売上額D.I. 低下

・今期は▲17.5と前期から13.4ポイントと大きく低下した。

・来期は今期から19.6ポイントの大幅回復を見込む。

● 収益D.I. 低下

・今期は▲18.3と前期から1.1ポイント低下した。

・来期は今期から14.2ポイントの大幅回復を見込む。

業況コメント

- ・(木製家具製造業)
売上に関しては横這いも、仕入れ価格上昇により減益傾向。
- ・(プラスチックモデル製造業)
円安の影響で原材料価格が上昇、仕先からの値上り要請あり。売上は現状維持も、今後の円の動きが気にかかる。
- ・(シール印刷)
10月以降の材料価格値上りを受け、販売価格の見直しを予定している。
- ・(水産加工業)
海外展開および新製品の販売に向けた計画をたてている。
- ・(軽節)
原材料の高騰による収益環境の悪化が懸念される、

経営上の問題点（複数回答）（%）

原材料高	67.3
売上の停滞・減少	46.9
人手不足	34.7

当面の重点経営施策（複数回答）（%）

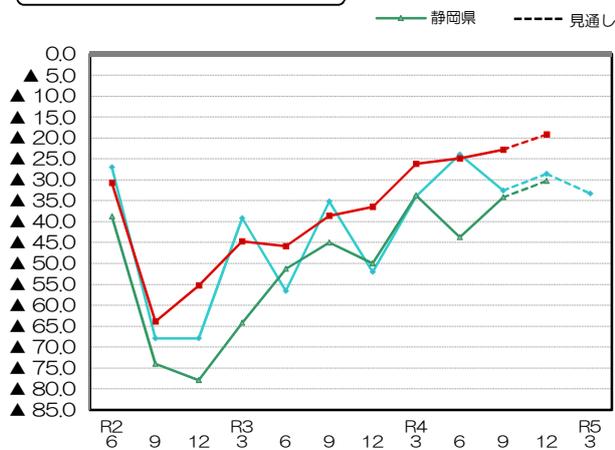
販路を広げる	51.0
経費を節減する	43.9
人材を確保する	36.7

設備投資動向（%）

今期設備投資を実施	30.6
今後3ヶ月以内に設備投資予定	36.7

卸 売 業 【回答先 50 社】 (前回 50 社)

業況判断D.I.の推移



コメント

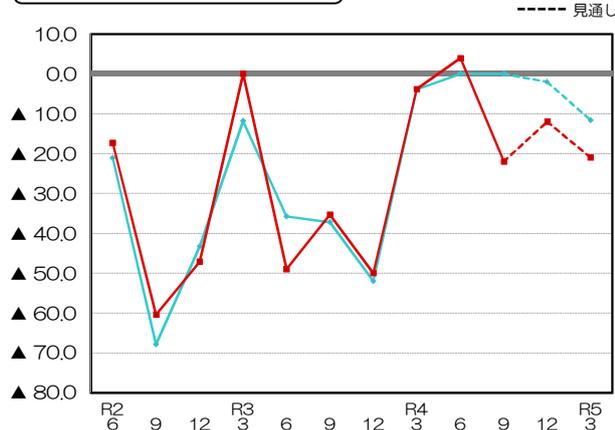


● 業況判断D.I. 低下

当金庫の営業地域内の業況判断D.I.は前期から8.6ポイント低下し、▲32.6とマイナス判断が拡大している。全国および静岡県の業況判断D.I.は回復するも、依然マイナス判断が続いている。

来期予想では当金庫営業地域内、全国および静岡県ともに回復を見込んでいる。

項目別D.I.の推移



コメント



● 売上額D.I. 横這い

- 今期は0と、前期と変わらず。
- 来期は今期から2.0ポイントの悪化を見込んでいる。

● 収益D.I. 大幅低下

- 今期は▲22.0と前期から26.0ポイントの大幅低下。
- 来期は今期から10.0ポイントの回復を見込んでいる。

業況コメント

- (水産加工物卸)
鯉の原魚不足および円安による輸入コストの増加により大きなマイナスの影響を受けている。販路への価格転嫁が少しずつ進み、明るい兆しも見え始めてきた。
- (機械工具)
大手製造メーカーは動いてきているが、零細企業は依然厳しい状況下にある。
- (茶葉)
茶葉の供給不足による価格高騰もあり、依然厳しい状況が続いている。

経営上の問題点 (複数回答) (%)

仕入先からの値上げ要請	48.0
売上の停滞・減少	40.0
利幅の縮小	38.0

当面の重点経営施策 (複数回答) (%)

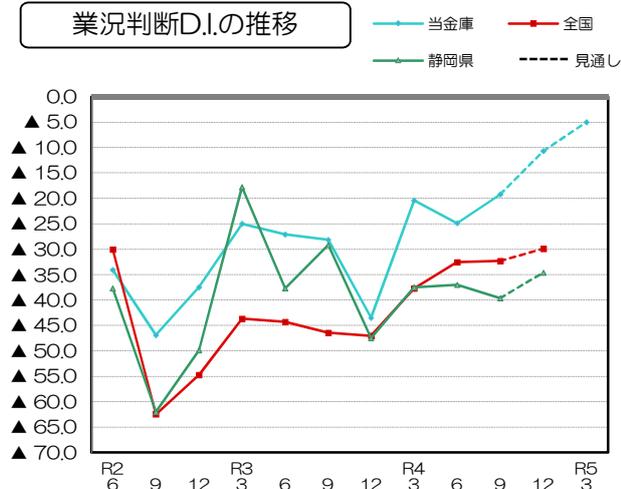
販路を広げる	54.0
経費を節減する	42.0
情報力を強化する	30.0

設備投資動向 (%)

今期設備投資を実施	28.0
今後3ヶ月以内に設備投資予定	28.0

小売業【回答先47社】（前回48社）

業況判断D.I.の推移



コメント



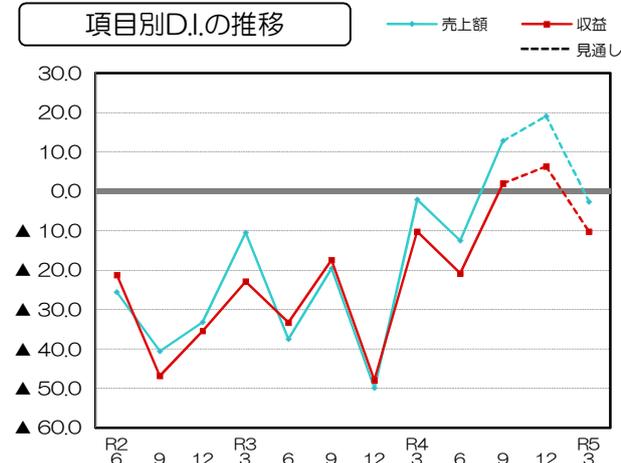
● 業況判断D.I. 上昇

当金庫の営業地域内の業況判断D.I.は前期から5.7ポイント回復し、▲19.2となるも依然マイナス判断となった。

全国の業況判断D.I.は横這い、静岡県は低下しマイナス判断が続いている。

来期予想では当金庫営業地域内は大幅回復、全国および静岡県はやや回復を見込んでいる。

項目別D.I.の推移



コメント



● 売上額D.I. 大幅上昇

・今期は12.8と前期から25.3ポイント大幅に上昇しマイナスを脱した。

・来期は今期から更に6.3ポイントの上昇を見込む。

● 収益D.I. 大幅上昇

・今期は2.0と前期から22.8ポイント大幅に上昇しマイナスを脱した。

・来期は4.3ポイントの上昇を見込んでいる。

業況コメント

- ・（スーパーマーケット）
物価の高騰により値上げを検討しているが、値上げによる売上げへの影響を測りかねており市場の動向を注視している。
- ・（自動車販売）
前年の9月頃より仕入が困難な状況が続いている。
- ・（カー用品販売）
売上、収益、価格は前期と変わらないが、在庫量はやや過剰となっている。来期は仕入れ価格の上昇にともない販売価格も上昇する見込みで、その分収益の上昇を見込んでいる。
- ・（水産加工品）
前回から大きな変化はないが、売上・利益ともに減少傾向にある。現状は資金繰りに懸念はないが回復の見込みも無く不安は拭えない。

経営上の問題点（複数回答）（%）

売上の停滞・減少	48.9
仕入先からの値上げ要請	29.8
人手不足	25.5

当面の重点経営施策（複数回答）（%）

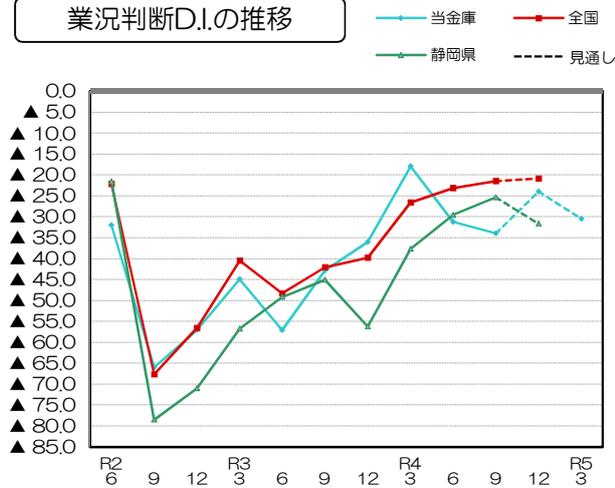
経費を節減する	44.7
人材を確保する	27.7
品揃えを改善する	23.4

設備投資動向（%）

今期設備投資を実施	31.9
今後3ヶ月以内に設備投資予定	27.7

サービス業 【回答先 50 社】（前回 48 社）

業況判断D.I.の推移



コメント

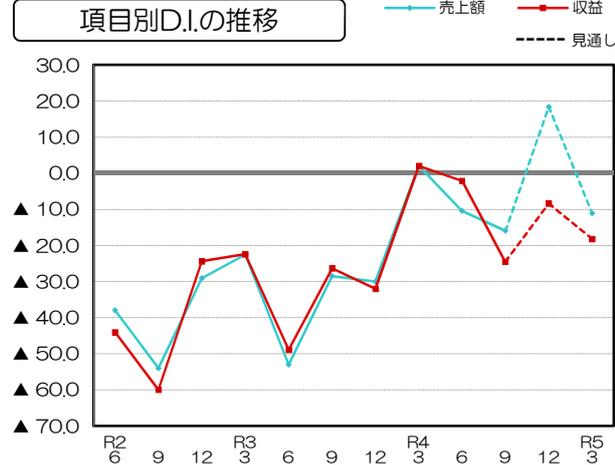


● 業況判断D.I. 低下

当金庫の営業地域内の業況判断D.I.は前期から2.8ポイント悪化し、▲34.0と引き続きマイナス判断となった。全国および静岡県はやや上昇するも、依然マイナス判断が続いている。

来期予想では当金庫営業地域内および全国は回復、静岡県は低下を見込んでいる。

項目別D.I.の推移



コメント



● 売上額D.I. 低下

- ・ 今期は▲16.0と前期から5.6ポイント低下した。
- ・ 来期は今期から34.4ポイントの大幅回復を見込んでいる。

● 収益D.I. 大幅低下

- ・ 今期は▲24.5と前期から22.4ポイント大幅に低下している。
- ・ 来期は今期から16.1ポイントの大幅回復を見込む。

業況コメント

- ・ (宿泊)
コロナ禍および円安の影響が大きく、依然厳しい状態が続いている。
- ・ (ビルメンテナンス)
原材料の高騰に伴い、今後洗剤等の仕入価格が上がると予想され業況への影響が懸念される。
- ・ (美容理容業)
業況に大きな変化は無いが、材料価格が値上がり始めており料金価格の見直しを迫られている。
- ・ (運送業)
燃料費の高騰により収益率が悪化してきている。

経営上の問題点 (複数回答) (%)

材料価格の上昇	52.0
人手不足	44.0
売上の停滞・減少	42.0

当面の重点経営施策 (複数回答) (%)

経費を節減する	56.0
人材を確保する	42.0
販路を広げる	36.0

設備投資動向 (%)

今期設備投資を実施	34.0
今後3ヶ月以内に設備投資予定	38.0

建設業【回答先60社】（前回60社）

業況判断D.I.の推移



コメント

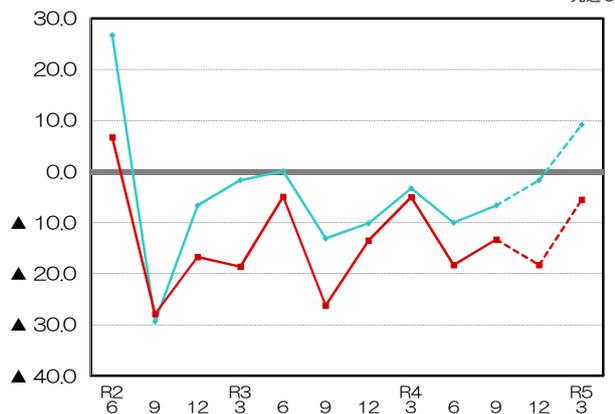


● 業況判断D.I. やや上昇

当金庫の営業地域内の業況判断D.I.は前期から1.8ポイント回復するも、▲6.6と引き続きマイナス判断となった。

全国の業況判断D.I.は回復も、静岡県は悪化している。来期予想では当金庫営業地域内および静岡県が悪化、全国は回復を見込んでいる。

項目別D.I.の推移



コメント



● 売上額D.I. 上昇

- ・ 今期は▲6.6と前期から3.4ポイント回復した。
- ・ 来期は今期から4.9ポイントの回復を見込んでいる。

● 収益D.I. 上昇

- ・ 今期は▲13.3と前期から5.0ポイント回復した。
- ・ 来期は今期から5.0ポイントの悪化を見込んでいる。

業況コメント

- ・ (一般土木・舗装)
官公庁からの受注が売上の大半を占め業況に大きな変化は無いが、資金繰りはやや厳しくなってきた。
- ・ (総合建設業)
建設資材の高騰による影響が出始めている、現場監督をはじめとした人手不足が依然として残る。
- ・ (住宅新築・リフォーム)
同業他社と同じく材料費の高騰の影響は大きく今後の先行きを懸念。社内環境の整備を行い従業員一丸となって事業に取り組んでゆく。

経営上の問題点 (複数回答) (%)

材料価格の上昇	68.3
人手不足	53.3
売上の停滞・減少	38.3

当面の重点経営施策 (複数回答) (%)

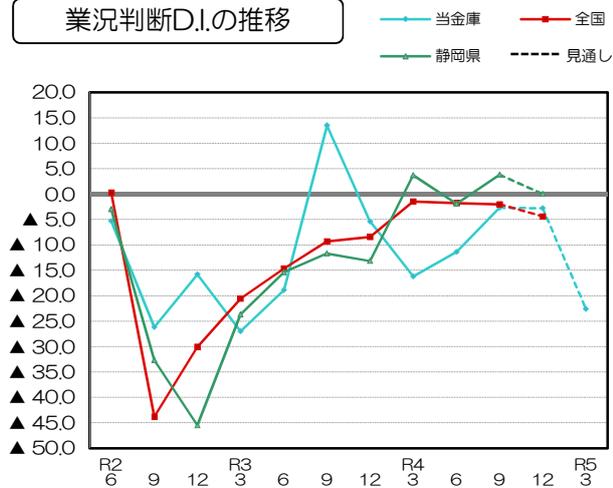
人材を確保する	61.7
販路を広げる	40.0
経費を節減する	36.7

設備投資動向 (%)

今期設備投資を実施	41.7
今後3ヶ月以内に設備投資予定	38.3

不動産業 【回答先 36 社】（前回 36 社）

業況判断D.I.の推移



コメント

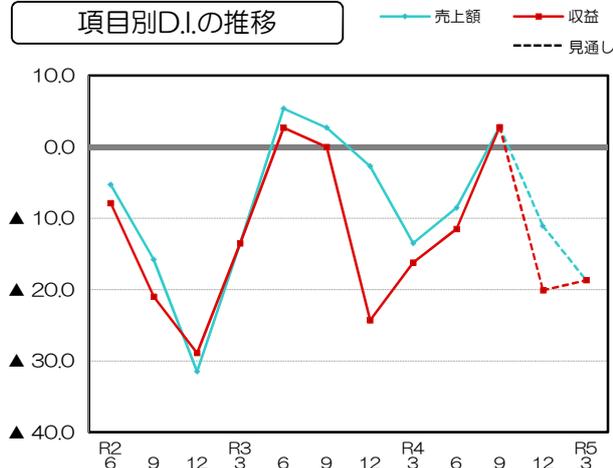


● 業況判断D.I. 上昇

当金庫の営業地域内の業況判断D.I.は前期から8.7ポイント回復し、▲2.7とプラス域を睨む判断となった。全国の業況判断D.I.は横這い、静岡県は上昇し再びプラス域となった。

来期予想では当金庫営業地域内、全国および静岡県は悪化を見込んでいる。

項目別D.I.の推移



コメント



● 売上額D.I. 上昇

● 今期は2.8と前期から11.3ポイント上昇しプラス域へと回復した。

● 来期は今期から大幅悪化の▲13.9ポイントを見込む。

● 収益D.I. 上昇

● 今期は2.8と前期から14.3ポイント上昇しプラス域へと回復した。

● 来期は今期から大幅悪化の▲22.9を見込んでいる。

業況コメント

- ・（不動産賃貸・売買仲介）
コロナ禍ではあるが影響はほとんど受けていない。売上は増加傾向にあるが、年末に向け多少下がると予想、SDGsは良く理解しており、今後も情報収集につとめて行きたい。
- ・（不動産業）
コロナ禍の影響は少なく、社会情勢の影響は若干あるも事業は堅調に推移している。引続き情報収集に努めて行く。

経営上の問題点（複数回答）（%）

商品物件の不足	52.8
同業者間の競争の激化	50.0
利幅の縮小	36.1

当面の重点経営施策（複数回答）（%）

情報力を強化する	50.0
販路を広げる	44.4
宣伝・広告を強化する	44.4

2. 中部地区經濟狀況

(1) 最近の経済状況

令和4年6月30日現在

国内

◇ 消費支出・収入減少

6月の消費支出(二人以上の世帯)は、1世帯当たり276,885円、物価変動の影響を除いた実質ベースで前年同月比3.5%の増加となりました。支出の内訳を見ると「教育」は2か月連続の実質減少、「住居」は5か月ぶりの実質増加、「家具・家事用品」は5か月連続の実質減少、「被服及び履物」は4か月連続の実質増加、「交通・通信」は3か月ぶりの実質増加、「光熱・水道」は3か月ぶりの実質減少となっています。勤労者世帯の実収入(二人以上の世帯)は、1世帯当たり916,705円と、前年同月比実質1.4%の減少となっています。(総務省)

◇ 経済の基調判断

政府は6月の月例経済報告で、「景気は、持ち直しの動きがみられる。」としました。個人消費も同様に「持ち直しの動きがみられる。」としています。(内閣府)

◇ 景気動向指数増加

6月の景気動向指数(2015年=100)は、景気の現状を示す一致指数が前月より3.7ポイント上昇し98.6となりました。内閣府では基調判断を「景気動向指数(CI一致指数)は、改善を示している。」としています。数か月先の景気を示す先行指数においては、前月より0.3ポイント下降の100.9となっています。(内閣府)(経済社会総合研究所)

◇ 有効求人倍率

6月の全国有効求人倍率(季節調整値)は1.27倍となり、前月を0.03ポイント上回りました。新規求人倍率(季節調整値)は2.24倍となり、前月を0.03ポイント下回りました。正社員の有効求人倍率(季節調整値)は0.99倍となり、前月を0.01ポイント上回りました。完全失業者数は186万人、前年同月に比べ21万人の減少、12か月連続の減少となりました。完全失業率(季節調整値)は2.6%となり、前月と同率となりました。就業者数は6,759万人、前年同月に比べ21万人の増加、3か月連続の増加となっています。(総務省・厚生労働省)

県内

◇ 鉱工業指数増加

6月の鉱工業指数(2015年=100)は、季節調整済の生産指数は、**94.4**で、前月比16.1%増と2か月ぶりに上昇しました。また、原指数では、**99.2**となり、前年同月比0.5%増と10か月ぶりに前年を上回りました。業種別(季節調整済指数)にみると、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ等が上昇する一方、その他製品、パルプ・紙・紙加工品、ゴム製品等が低下しました。季節調整済の出荷指数は**91.8**で、前月比11.5%増と2か月ぶりに上昇しました。また、原指数は**95.4**となり、前年同月比0.3%減と11か月連続して前年を下回りました。業種別にみると、食料品・たばこ、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械等が上昇する一方、金属製品、その他製品、木材・木製品等が低下しました。(静岡県知事直轄組織統計調査課)

◇ 県内景気動向指数増加

6月の景気の基調判断である景気動向指数(CI一致指数)は、「改善を示している。」としています。景気の先行きを示す先行指数は前月比0.2ポイント下降し、2か月連続で下降しました。景気の現状を示す一致指数は前月比2.3ポイント上昇し、2か月ぶりに上昇しました。静岡県景気動向指数(2015年=100)(静岡県デジタル戦略局データ活用推進課)

◇ 有効求人倍率

6月の県内の有効求人倍率(季節調整値)は1.31倍となり、前月を0.03ポイント上回りました。17か月連続で1倍台となり、全国値(1.27倍)を0.04ポイント上回りました。正社員の有効求人倍率(原数値)は1.05倍となり、前年同月を0.16ポイント上回り、全国値(0.95倍)を16か月連続で上回りました。新規求人倍率(季節調整値)は2.39倍となり、前月を0.14ポイント上回りました。雇用情勢の概況について静岡労働局では「県内の雇用情勢は改善しているが、原材料やエネルギー価格の高騰などが雇用に与える影響に注意する必要がある。」としています。(静岡労働局)

中部地区

〔雇用〕 ◇ 有効求人倍率

6月の中部地区有効求人倍率は1.39倍と前月より0.04ポイントの上昇、前年同月比でも0.21ポイントの上昇となっています。新規求人倍率は2.73倍で、前月比では0.50ポイントの上昇、前年同月比では0.44ポイント上昇しています。

(2) 各種統計情報

① 世帯・人口

データ＝静岡県

令和4年6月末	人口	世帯数
静岡市(三区合計)	684,784人	300,763世帯
焼津市	135,360人	54,235世帯
藤枝市	140,104人	55,059世帯

令和4年4月～6月の動向(前期比較)

人口

中部地区の総人口(外国人登録者含む)は、令和4年3月末との比較で135人増加し、1,131,603人となりました。市別では静岡市が156人減少し684,784人、焼津市が114人増加し135,360人、藤枝市が24人増加の140,104人となりました。

また前年同月比でみた場合、中部地区全体で8,744人減少しました。市別では静岡市が5,590人の減少、焼津市が733人の減少、藤枝市は918人の減少などとなっています。

世帯数

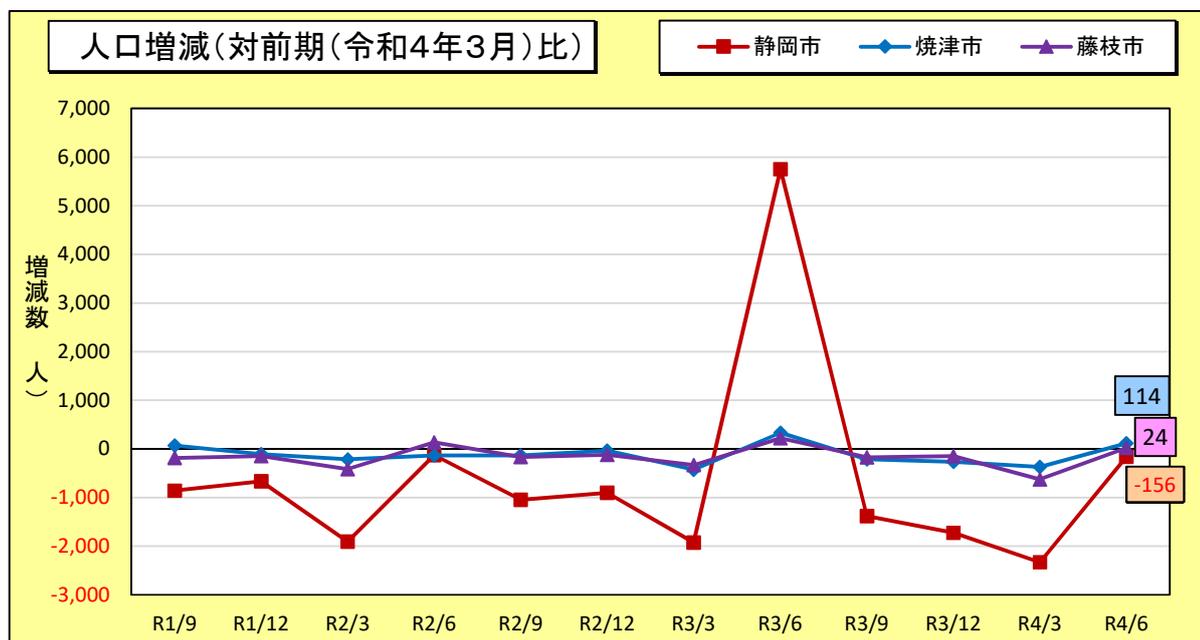
中部地区の総世帯数(外国人登録世帯含む)は、令和4年3月末との比較で2,925世帯増加し、475,994世帯となりました。市別では静岡市が1,515世帯増加し300,763世帯、焼津市が412世帯増加し54,235世帯、藤枝市が460世帯増加の55,059世帯となりました。

前年同月比では静岡市は2,110世帯増加、焼津市は675世帯増加、藤枝市は470世帯増加し、全体では4,104世帯の増加となっております。

令和4年6月末現在 (単位:人、世帯)

	人口	世帯数	前期比人口増減	前期比世帯数増減
静岡市葵区	246,221	106,131	▲ 278	384
静岡市駿河区	211,635	97,981	150	561
静岡市清水区	226,928	96,651	▲ 28	570
焼津市	135,360	54,235	114	412
藤枝市	140,104	55,059	24	460
島田市	94,663	35,925	83	283
牧之原市	42,274	15,969	▲ 27	108
吉田町	28,623	11,489	133	134
川根本町	5,795	2,554	▲ 36	13
地区計	1,131,603	475,994	135	2,925

※推計人口は、市区町村別推計人口表(速報値に基づく集計)により算出しています。



② 東名高速料金所出入り台数

データ=NEXCO中日本高速道路 静岡

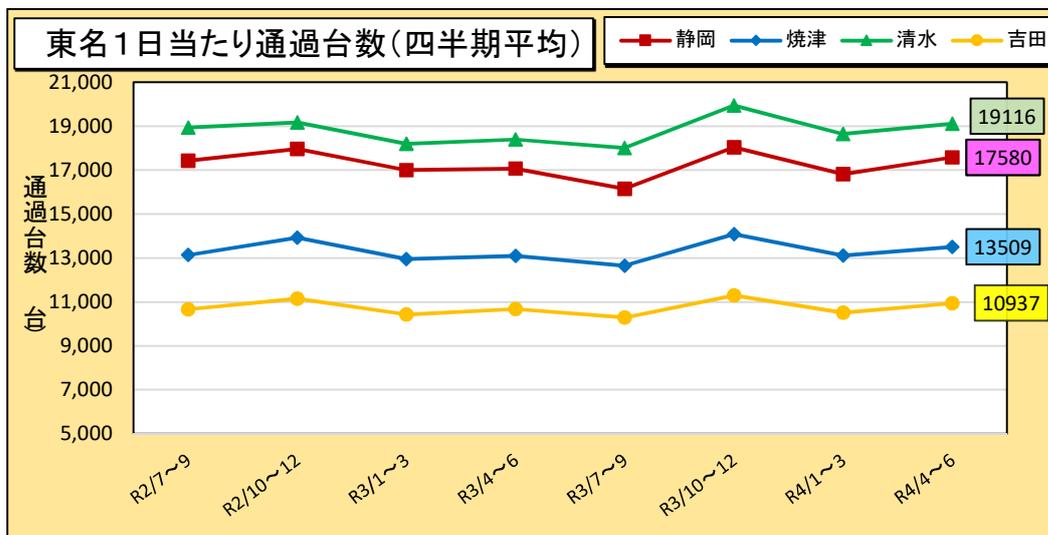
令和4年4月～6月	1日当たり通行台数	前年同期比
静岡料金所	17,580台	+ 3.0%
焼津料金所	13,509台	+ 3.1%

概況

令和4年4月～6月の東名高速道路静岡料金所における「1日当たり通行台数」は、前年同期比3.0%増加の17,580台となりました。焼津料金所は3.1%増加の13,509台、清水料金所は3.9%増加の19,116台、吉田料金所は2.4%増加の10,937台、大井川SICは3.7%増加の7,979台、日本平SICは8.4%増加の9,828台でした。

また、新東名の新静岡料金所の「1日当たり通行台数」は、前年同期比7.7%増加の8,681台となりました。藤枝岡部料金所は9.3%増加の7,119台、新清水料金所は3.2%増加の3,101台、島田金谷料金所は5.7%増加の5,240台となりました。

【最近の状況(1日当たり)】	R3年度	R4/4月	R4/5月	R4/6月	4～6月平均
静岡料金所 (台)	17,022	17,644	17,542	17,554	17,580
前年同月比 (%)	2.4	0.7	8.0	0.6	3.0
清水料金所 (台)	18,750	19,197	19,426	18,725	19,116
前年同月比 (%)	4.6	1.2	9.2	1.7	3.9
* 東名高速 *					
焼津料金所 (台)	13,238	13,690	13,415	13,422	13,509
前年同月比 (%)	3.9	1.6	7.5	0.6	3.1
吉田料金所 (台)	10,693	11,188	10,582	11,042	10,937
前年同月比 (%)	3.5	1.5	6.1	▲ 0.01	2.4
大井川SIC (台)	7,754	8,101	7,823	8,013	7,979
前年同月比 (%)	7.5	2.1	7.5	1.6	3.7
日本平SIC (台)	9,289	9,890	9,828	9,766	9,828
前年同月比 (%)	13.8	8.3	12.1	5.1	8.4
* 新東名高速 *					
新静岡料金所 (台)	8,350	8,659	8,931	8,454	8,681
前年同月比 (%)	10.0	4.7	12.6	5.9	7.7
新清水料金所 (台)	2,973	3,104	3,221	2,978	3,101
前年同月比 (%)	▲ 2.2	2.0	6.4	1.3	3.2
藤枝岡部料金所 (台)	6,712	7,038	7,475	6,845	7,119
前年同月比 (%)	7.4	5.6	15.7	6.8	9.3
島田金谷料金所 (台)	4,983	5,069	5,637	5,013	5,240
前年同月比 (%)	3.2	1.7	13.4	1.9	5.7



③ 鉱工業指数(生産指数・出荷指数)

データ＝静岡県知事直轄組織統計調査課

令和4年6月		前年同月比	前月比
静岡県 生産指数		(原指数比較)	(季節調整済指数比較)
原指数	99.2	+0.5%	
季節調整済指数	94.4		+16.1%
静岡県 出荷指数		(原指数比較)	(季節調整済指数比較)
原指数	95.4	△0.3%	
季節調整済指数	91.8		+11.5%

概況

基準年：2015年＝100

令和4年6月の静岡県鉱工業指数(生産指数 速報値)は、季節変動の影響を除いた季節調整済指数は**94.4**で、前月比16.1%増と2か月ぶりに上昇しました。また、原指数では**99.2**となり、前年同月比0.5%増と10か月ぶりに前年を上回りました。業種別(季節調整済指数)にみると、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ等が上昇する一方、その他製品、パルプ・紙・紙加工品、ゴム製品等が低下しました。

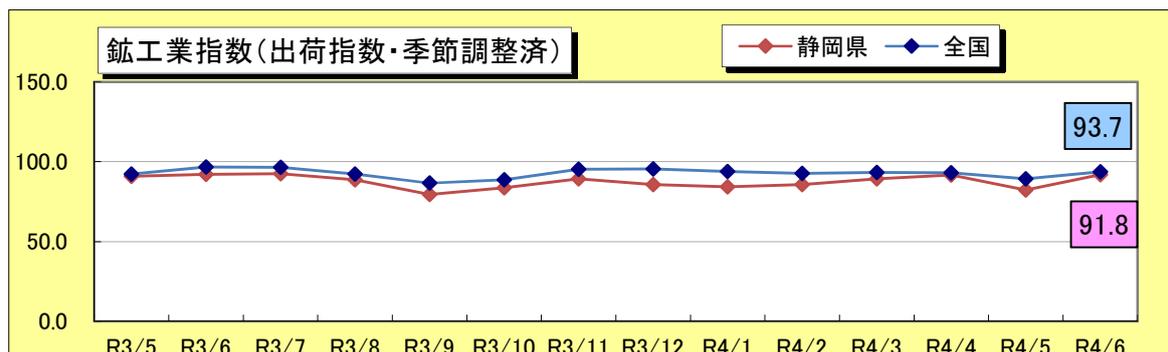
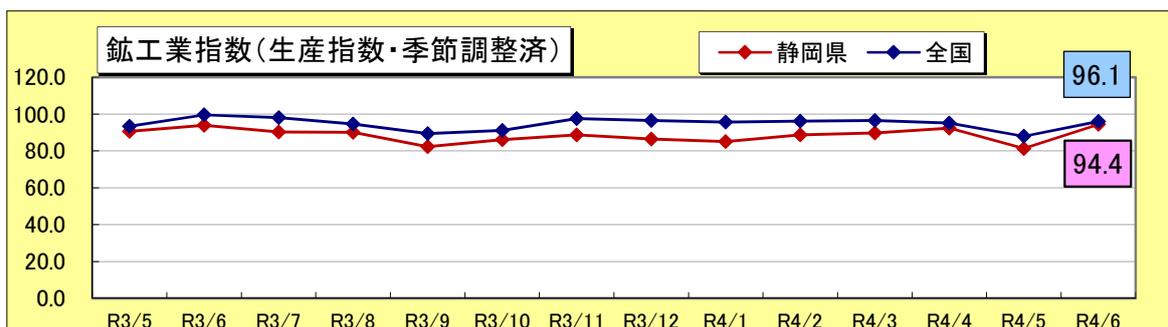
令和4年6月の静岡県鉱工業指数(出荷指数 速報値)は、季節変動の影響を除いた季節調整済指数は、**91.8**で、前月比11.5%増と2か月ぶりに上昇しました。また、原指数は**95.4**となり、前年同月比0.3%減と11か月連続して前年を下回りました。業種別にみると、食料品・たばこ、輸送機械、汎用・生産用・業務用機械等が上昇する一方、金属製品、その他製品、木材・木製品等が低下しました。

【生産指数】

静岡県	R3年度(平均)	R4/4月	R4/5月	R4/6月
原指数	89.6	89.6	75.9	99.2
季節調整済指数	89.6	92.3	81.3	94.4
全国				
原指数	95.7	93.8	83.8	98.8
季節調整済指数	95.7	95.1	88.0	96.1

【出荷指数】

静岡県	R3年度(平均)	R4/4月	R4/5月	R4/6月
原指数	88.4	88.1	75.2	95.4
季節調整済指数	88.5	91.7	82.3	91.8
全国				
原指数	93.5	90.9	81.3	95.7
季節調整済指数	93.4	93.0	89.2	93.7



④ 雇 用

データ＝ハローワーク焼津 他

令和4年6月 「中部地区」		前年同月比	前月比
(1)有効求人倍率	1.39倍	+ 0.21P	+ 0.04P
(2)新規求人数	9,107人	+ 20.0%	+ 14.0%
(3)失業給付受給者実人数	3,502人	△ 8.5%	+ 8.9%

概 況【令和4年6月】

中部地区における「有効求人倍率」は、一般(正社員等)が前年同月より0.27ポイント増加し**1.57倍**、パートについては0.14ポイント増加の**1.16倍**、トータルで**1.39倍**と0.21ポイント増加しました。また、前月に対しては0.04ポイントの増加となっています。景気の先行指標とされる「新規求人数」は、前年同月比では1,518人(20.0%)増加し、前月比では1,121人(14.0%)増加の**9,107人**となりました。なお、「新規求人倍率」は2.73倍で、前年同月比では0.44ポイント上昇、前月比は0.50ポイント上回りました。

静岡県の「有効求人倍率」(季節調整値)は**1.31倍**と、前月を0.03ポイント上回り、全国平均値(**1.27倍**)を0.04ポイント上回りました。「新規求人倍率」は、2.39倍と、前月を0.14ポイント上回り、全国平均値(**2.24倍**)を0.15ポイント上回りました。雇用情勢について静岡労働局では、「県内の雇用情勢は改善しているが、原材料やエネルギー価格の高騰などが雇用に与える影響に注意する必要がある。」としています。産業別新規求人数は、「建設業」「製造業」「運輸業」「郵便業」「卸売業」「小売業」「宿泊業」「飲食サービス業」「医療」「福祉」「サービス業」で増加しました。

全国の「有効求人倍率」(季節調整値)は**1.27倍**で前月より0.03ポイント上昇しました。「新規求人倍率」は**2.24倍**となり、前月比で0.03ポイント低下しました。「完全失業率」(季節調整値)は2.6%となり、前月と同率となりました。

(1)「中部地区」有効求人数・有効求職者数

- ・月間有効求人数 24,793人 (一般 15,905人 前月比 +706人、パート8,888人 同 △31人)
- ・月間有効求職者数 17,828人 (一般 10,135人 前月比 △66人、パート7,693人 同 △25人)

令和4年6月の月間有効求人数は、24,793人と前月比で675人増加しました。月間有効求職者数は前月比91人減少の17,828人となりました。求人数は増加するも、求職者数は減少し、有効求人倍率は0.04ポイント増加の1.39倍となりました。

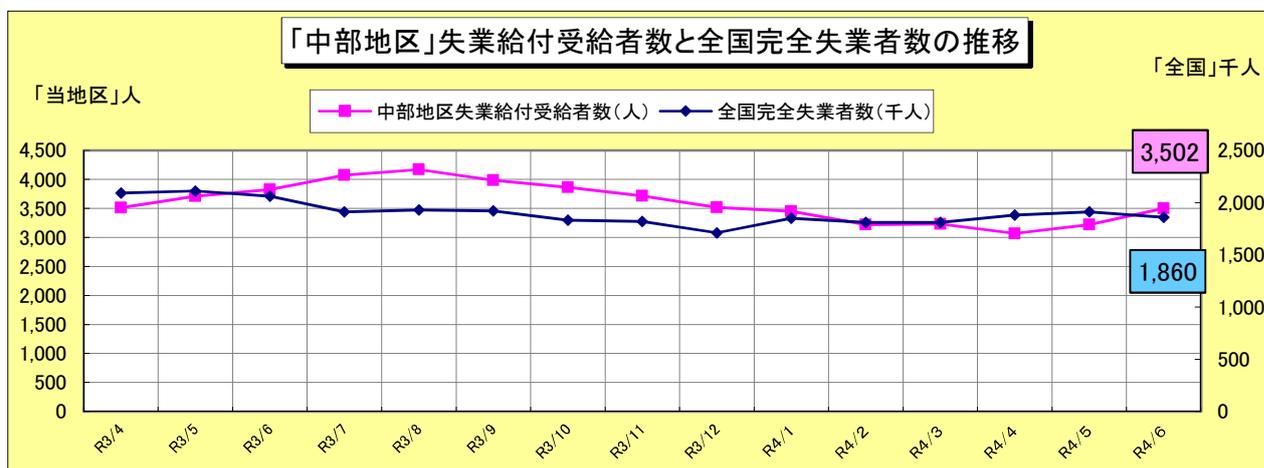
(2)「中部地区」新規求人数

令和4年6月の新規求人数は、前月から1,121人増加し、**9,107人**となりました。内訳は、一般で前月比1,278人増加し**6,157人**、パートは前月比157人減少し**2,950人**でした。新規求職者は前月比248人減少し、**3,331人**でした。内訳は、一般が前月比85人減少の**2,033人**、パートは163人減少の**1,298人**でした。

(3)「中部地区」失業給付受給者実人員(「多いほど悪い」とする指標)

令和4年6月の雇用保険受給者実人員は**3,502人**となり、前年同月比では8.5%の減少、前月比では8.9%の増加となりました。

※ 全国の「完全失業者数」は、前年同月と比べ21万人減少の**186万人**と12ヶ月連続の減少となりました。季節調整値では前月と同数の**180万人**となりました。



雇用関係指標の推移

※求職者1人に対し、何人の求人があるかを示す指標です。(単位:倍)

		R4/2月	R4/3月	R4/4月	R4/5月	R4/6月
有効求人倍率	中部地区	1.45	1.47	1.40	1.35	1.39
	前年比	+0.20	+0.24	+0.26	+0.22	+0.21
	静岡県	1.21	1.24	1.27	1.28	1.31
	前年比	+0.21	+0.23	+0.23	+0.21	+0.19
	全国	1.21	1.22	1.23	1.24	1.27
	前年比	+0.12	+0.12	+0.14	+0.14	+0.14

(注) 中部地区の有効求人倍率は原数値、静岡県・全国は季節調整値を記載しています。

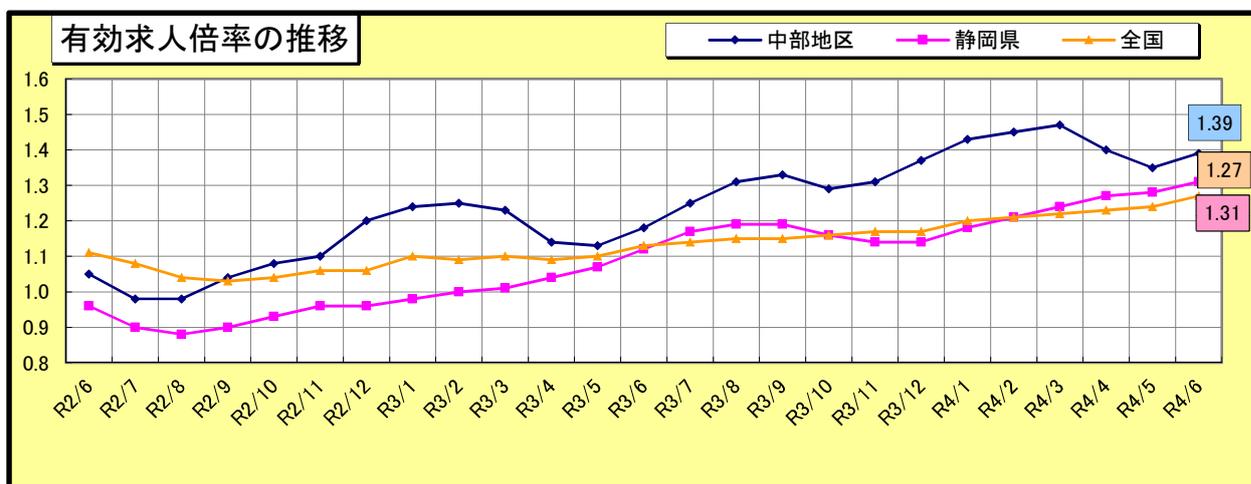
(単位:人)

		R4/2月	R4/3月	R4/4月	R4/5月	R4/6月
新規求人数	中部地区	8,719	8,801	8,644	7,986	9,107
	前年比(%)	+19.0	+16.4	+15.7	+18.0	+20.0
	内 パート	3,359	3,205	3,299	3,107	2,950
	前年比(%)	+20.0	+12.6	+13.8	+28.2	+11.0
	静岡県	24,380	23,873	23,342	22,395	24,404
	前年比(%)	+20.1	+10.8	+15.3	+16.2	+14.7
	内 パート	9,083	8,876	8,849	8,590	8,760
	前年比(%)	+19.8	+7.3	+14.6	+26.5	+14.8

(単位:人、枚)

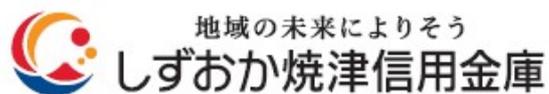
中部地区		R4/2月	R4/3月	R4/4月	R4/5月	R4/6月
雇用保険	離職票交付(枚)	2,727	3,251	6,676	3,375	2,944
	前年比(%)	+9.7	+3.8	▲ 2.0	+16.5	+4.2
	失業給付受給者(人)	3,219	3,233	3,068	3,217	3,502
	前年比(%)	▲ 13.0	▲ 12.2	▲ 12.6	▲ 13.3	▲ 8.5
	高齢雇用継続給付受給者(人)	3,022	2,946	3,005	2,829	3,129
	前年比(%)	▲ 2.8	▲ 1.7	+2.0	▲ 4.1	▲ 0.8
	育児休業給付受給者(人)	1,582	1,804	1,681	1,916	1,576
	前年比(%)	+9.5	+3.9	▲ 0.8	+14.5	+8.1

(注) 今回より高齢雇用継続給付受給者及び育児休業受給者は「受給者数(基本)」を記載しています。



【統計用語等の解説】

- 消費支出……………毎月の物やサービスの購入金額を調査したもので、1世帯当たりの支出金額を示します。社会保障費や税金は含みません。
- 国内総生産(GDP)…日本国内の経済活動で生み出したモノやサービスの価値の合計です。直前の3ヵ月前と比べたものなどが経済成長率と呼ばれ景気の指標になっています。
- 月例経済報告…足元の国内景気の水準や方向感についての政府の公式見解です。政府はこれをもとに経済政策を決めています。
- 企業短期経済観測調査(日銀短観)…日銀が民間企業の景況感や設備投資計画などを把握するため3ヵ月ごとに行っている調査で、業況や雇用などの現状と先行きの判断について「良い・悪い」「過剰・不足」といった選択肢から企業が回答した結果を指数化したものです。
- 景気動向指数…景気に敏感な10種類程度の経済指標で構成しています。3ヵ月前に比べ改善した指標が全体に占める割合で、景気が上向きか下向きかを示す指標です。指数が50%を超えると景気は「上向き」、下回れば「下向き」と判断します。平成20年4月より、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標(CI)により、景気変動の大きさやテンポ(量感)を測定し、景気の強弱を定量的に判断する指標を導入しました。一般に、指数が上昇している時は景気の拡大局面、低下している時は後退局面であり、指数の大きさが景気の拡張または後退のテンポを表します。
- 有効求人倍率…有効求人数を有効求職者数で割ったもので、求職者1人に対して何人の求人があるかを示します。有効求人倍率が高いと職は見つけやすくなります。
- 完全失業率…満15歳以上で働く意志を持つ労働力人口に占める完全失業者数の割合です。景気拡大期には、失業者が減り失業率は低下します。
- 完全失業者…労働力人口のうち、一定期間中に収入を伴う仕事に就かなかつた人で、実際に求職活動を行った人の数です。
- 季節調整値…統計において、実数から季節的な要因を取り除いた結果数値のことです。



編集・発行

しずおか焼津信用金庫 お客様サポート部

〒420-0839

静岡市葵区鷹匠3丁目23番6号

TEL : 054-270-8011 FAX : 054-255-3211

URL : <https://www.shizuokayaizu-shinkin.co.jp>

E-mail : support@shizuokayaizu-shinkin.co.jp

2022.10月発行

- 本誌は、標記時点における情報提供を目的としています。
- 本誌の掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性について保証するものではありません。